平成26年11月発行

 ***新公会計NEWS ≪第１号≫***

***～ 大阪府の財務状況を分かりやすく！ ～***

**◎はじめに**

大阪府では、従来の官庁会計の仕組みに、複式簿記・発生主義という企業会計の考え方を取り入れた新公会計制度を導入し、日々の仕訳入力に基づく財務諸表を作成することで、住民のみなさまに行政運営の情報を正確にわかりやすく公表するとともに、財務マネジメントにも活用しているところです。

**『新公会計NEWS』**では、作成しました平成２５年度の財務諸表の内容を中心に、数回にわたってわかりやすく解説していくことで、府民のみなさまに大阪府の財務状況の概要をお伝えしていきます。

**◎大阪府の会計制度**

**新公会計制度**

複式簿記

発生主義

**官庁会計制度**

単式簿記

現金主義

官庁会計だけでは・・・

●土地や建物などの「資産」や地方債などの「負債」の情報が把握できない！

●「収入」と「支出」としか捉えず、資本と損益の区別がない！

●「減価償却」や「人件費」を含めた正確なコストが分からない！

**財務諸表**

貸借対照表（BS）

行政コスト計算書（PL）

純資産変動計算書

キャッシュ・フロー計算書（CF）

**《財務諸表とは》**

『貸借対照表』、『行政コスト計算書』、『キャッシュ・フロー計算書』及び『純資産変動計算書』を特に「財務４表」といい、さらに財務諸表の基本的な処理方針の説明や不足する情報を補うために「注記」や「附属明細表」をあわせて**「財務諸表」**と呼んでいます。

[新公会計制度による大阪府の](http://www.pref.osaka.lg.jp/kaikei/newzaimusyohyou/index.html)**[財務諸表](http://www.pref.osaka.lg.jp/kaikei/newzaimusyohyou/index.html)**[の掲載は、大阪府ホームページ（カテゴリーからさがす）⇒](http://www.pref.osaka.lg.jp/kaikei/newzaimusyohyou/index.html)

[「府政運営・市町村」⇒「財政」⇒「新公会計制度による大阪府の財務諸表について」でご覧いただけます。](http://www.pref.osaka.lg.jp/kaikei/newzaimusyohyou/index.html)

![C:\Users\koshikak\AppData\Local\Microsoft\Windows\Temporary Internet Files\Content.IE5\JXU828HU\MC900343747[1].wmf]()



*それでは、「財務４表」のうちの１つ、『貸借対照表』について解説します。*

「貸借対照表」は財務諸表の作成基準日（年度末）における、「資産」や「負債」、「純資産」の状況を明らかにするための計算書です。

**貸借対照表（バランスシート）の構成**

「負債」というのは、「返さなければならない借金の状態」を表します。

|  |  |
| --- | --- |
| **資産の部** | **負債の部** |
| **純資産の部** |

「資産」とは、所有している財産（お金と物）と権利（債権）です。

「純資産」とは、資産の総額から負債の総額を引いたものです。



*今回は、『貸借対照表』の中の『****資産の部****』についての解説です。*

**貸借対照表（バランスシート）の**

**『資産の部』について**

![C:\Users\koshikak\AppData\Local\Microsoft\Windows\Temporary Internet Files\Content.IE5\8F0OABYY\MC900228060[1].wmf]()![C:\Users\koshikak\AppData\Local\Microsoft\Windows\Temporary Internet Files\Content.IE5\S1OR8A20\MC900326756[1].wmf]()　　　　　　　　　　　　　（単位：億円）

調定済の収入で納付されていない債権（収入未済）のうち、回収不能と判断する金額です。

（H24年度に比べ4億円増）

基金とは、財政運営を計画的に行ったり特定の目的のために、資金を積み立てるもので、いわゆる家計における預貯金に相当するものです。

（H24年度に比べ83億円増）

収入すべき額のうち、まだ収入されていない額です。

税未収金と

その他未収金があります。

（H24年度に比べ57億円減）

「流動資産」は、1年以内に現金化することができる資産です。

（H24年度に比べ182億円増）

大阪府の「資産」の合計は、

**8兆4,676億円**で、H24年度から、ほぼ横ばいです。

（H24年度に比べ3億円増）

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
|  | 平成25年度 | 平成24年度 |
| **資産の部** | **84,676** | **84,674** |
|  | 流動資産 | 5,403 | 5,221 |
|  | 現金預金未 収 金不納欠損引当金基 金そ の 他 | 911439▲114 3,444 722 | 704497▲118 3,361777  |
|  |  |  |  |
|  |
|  | 平成25年度 | 平成24年度 |
| **資産の部** |
|  |  |  |  |
|  | 固定資産 | 79,273 | 79,453 |
|  | 事業用資産・・インフラ資産・・・建設仮勘定投資その他の資産・・そ の 他☆金額は、億円未満を四捨五入して表示しています。このため、表内での合計等が一致しないことがあります。 | 22,235　　　・　　　・　　　　　　42,243　　　・　　　・　　　・2,22912,375　　　・　　　・191 | 22,508　　・　　・　　　　　　　42,801　　　・　　　・　　　・2,03611,909・　・　198 |

![C:\Users\koshikak\AppData\Local\Microsoft\Windows\Temporary Internet Files\Content.IE5\NNI55SUI\MC900434813[1].png]()![C:\Users\koshikak\AppData\Local\Microsoft\Windows\Temporary Internet Files\Content.IE5\S1OR8A20\MC900434207[1].wmf]()![C:\Users\koshikak\AppData\Local\Microsoft\Windows\Temporary Internet Files\Content.IE5\NNI55SUI\MC900434825[1].png]()

「建設仮勘定」は、建物・機械・土地などの固定資産を取得する場合における支出などを、その資産が完成するまでの間、計上するものです。

　建設途中の未完成の

固定資産です。

（H24年度に比べ193億円増）

「投資その他の資産」は、法人等や公営企業会計への「出資金」や、

翌々年度以降に償還が見込まれる貸付金、減債基金※などの基金です。

（H24年度に比べ466億円増）

※ 府の借金である府債の返済の際に、満期日が来るまでの間、「借金を返済したつもり」で、お金を貯めておく「財布」にあたるもの。

「インフラ資産」は、

道路・河川・下水道・港湾等の資産です。

（H24年度に比べ557億円減）

「事業用資産」は、府庁舎や学校などで、公共用に使用する資産のうち道路や河川などの「インフラ資産を除く資産」です。

「有形固定資産」（土地や建物など）と、「無形固定資産」（特許権など）があります。

（H24年度に比べ273億円減）

「固定資産」は、長期にわたり保有する資産です。

たとえば、建物・機械・土地などがこれに当てはまります。

（H24年度に比べ179億円減）

*「****資産の部****」の続きです・・*

*次回は、『貸借対照表』の中の『****負債の部****』について解説します！*

